

令和2年産

大崎麦作情報 第4号

令和2年4月24日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910
<http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～今後の管理のポイント～

- 収量・品質向上のために追肥を行いましょう。
- 赤かび病防除を徹底しましょう。
- 排水対策を徹底しましょう。

1 気象経過

- ・気温は4月上旬まで平年より高くなりましたが、その後平年より低くなりました。
- ・日照時間は3月中旬以降は多照の傾向でしたが、4月4半旬は少照となっています。
- ・降水量はまとまった降水のあった3月2半旬、4月1半旬、4半旬を除き、少雨で推移しています。

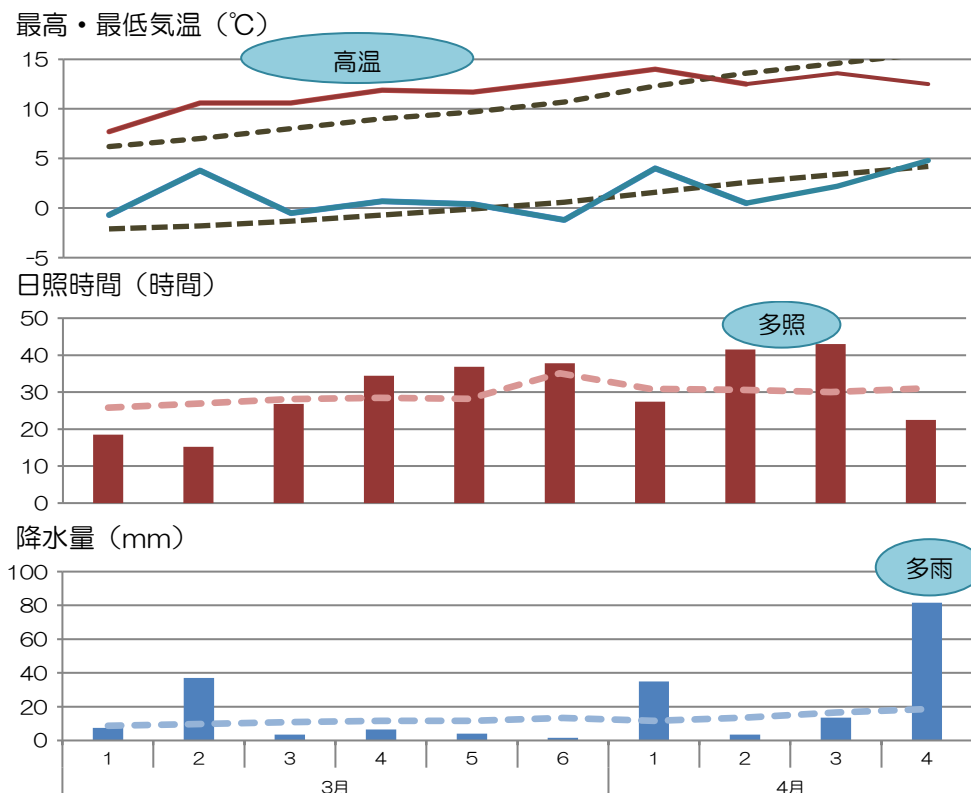


図1 気象経過 (アメダス古川)
※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値。

2 生育状況（4月10日現在）

- 生育調査結果（4月10日現在）では、草丈23cmで平年並みですが、莖数518本/m²と平年を下回りました。
- 幼穂長は2.5mm（平年差-1.0mm）と、平年より生育ステージが遅れています。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			莖数 (本/m ²)			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	11/1	+13	+11	23	114%	100%	518	65%	48%	2.5	+0.4	-1.0

※平年差（比）は、過去5か年（平成27年～令和元年産）の平均値との比較

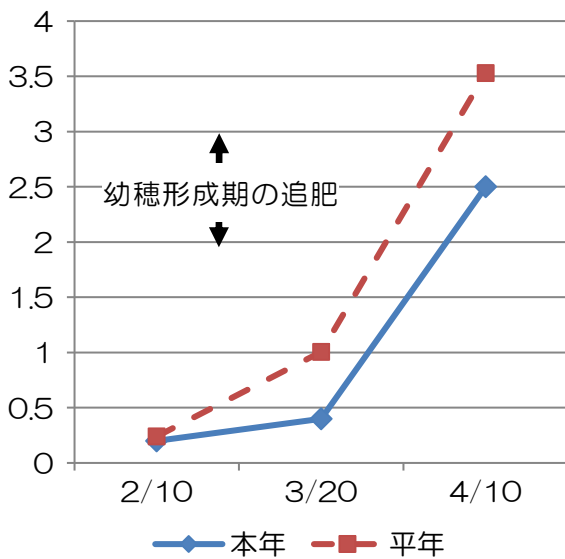


図2 生育調査ほ（品種：シラネコムギ）における幼穂長の推移

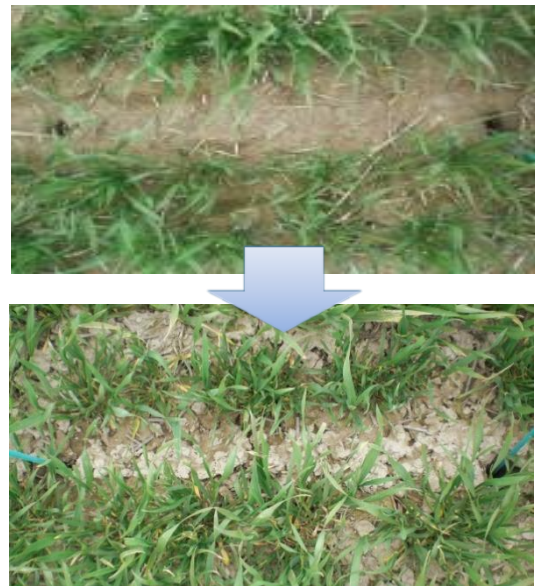


写真1 生育調査ほの様子
（上：前回調査 下：今回調査 4/10）

3 今後の生育ステージの見通し

- 今後の生育ステージは、減数分裂期・出穂期ともに平年より3日遅くなり、開花期は5月21日頃と予測されます（表2）。
- 仙台管区气象台による向こう1か月の天候では、気温が低い～平年並と予想されますが、追肥の適期を逃さないよう、今後の生育状況に注意しましょう。

表2 幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	播種日			減数分裂期			出穂期			開花期
	本年	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測
古川 シラネコムギ	11/1	+13	+11	5/2	0	+3	5/11	+0	+3	5/21

※1 平年差は、過去5か年（平成27年～令和元年産）の平均値との比較

※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測。

※3 栽培管理上の目安であり、実際の生育ステージは今後の気象条件によって変動あり。

4 今後の管理

(1) 追肥

収量・品質向上のために追肥を行いましょう。

- ・減数分裂期の追肥は「一穂粒数の確保・登熟良化」につながります。品質を確保するためには、N施肥量4～5kg/10a施用しましょう。
- ・穂揃期の追肥は「子実タンパク質含有率の向上」につながります。

表3 追肥時期と施肥量の目安（シラネコムギ）

追肥の種類	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
追肥時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
N施肥量 (kg/10a)	2～2.5	4～5	2～2.5
硫安の場合 (kg/10a)	10～12	20～25	10～12
尿素の場合 (kg/10a)	4.5～5.5	9～11	4.5～5.5

～ 減数分裂期の判断方法（シラネコムギ）～

小麦の減数分裂期の目安は、幼穂長 30～50mm であり、止葉葉耳間長から幼穂長を推定し、減数分裂期の追肥時期の目安とすることができます。小麦（シラネコムギ）では、「止葉葉耳間長±0mm 以上の茎が 4～5 割」が目安となります。

幼穂長	30mm	40mm	50mm
葉耳間長	-30mm	+3mm	+30mm

図3 葉耳間長の形態的推移

(2) 赤かび病防除

- ・赤かび病とは？

赤かび病は、穂の一部あるいは全部が褐色となる病害です。発生源は、主に汚染種子内の菌糸や被害わら、こぼれた麦上に形成された病原菌（子のう殻）です。赤かび病は開花期が最も感染しやすく、開花期に降雨が多いと発生しやすくなります。

- ・赤かび病の防除体系

赤かび病防除は2回の薬剤防除が基本になります。1回目の防除は「開花始期～開花期」、2回目の防除を「1回目の7～10日後」に行いましょう。降雨が続く場合には追加防除を行いましょう。

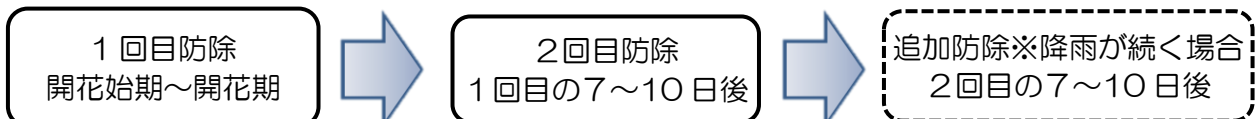


図4 赤かび病防除体系

(3) 排水対策

麦は莖立ち期以降、湿害に弱くなります。ほ場に水を停滞させないためにも明きよと暗きよの確認を行い、排水対策を徹底しましょう。

- ・大雨の後は、ほ場を巡回して水が停滞していないか確認しましょう。
- ・明きよ…手直し、管理機等で溝を作り、排水口まで繋げましょう。
- ・暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。

東北地方 1 か月予報

(4月18日から5月17日までの天候見通し)

令和2年4月16日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候 ※東北太平洋側>

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並みまたは低い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は低い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	40	40	20
【降水量】	東北太平洋側	30	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	40	30	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	50	30	20
2週目	東北地方	50	30	20
3~4週目	東北地方	30	30	40

<予報の対象期間>

1 か 月 4月18日(土)~5月17日(日)

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(4月1日~6月30日)◆◆◆◆◆

農作業中の事故は農業機械によるものが多く、また、機械の転倒や転落が大きな要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際は油断せずに、後方確認を行い足元にも注意しましょう。

重点推進テーマ 「見直そう! 農業機械作業の安全対策」

次号の「令和2年産大崎麦作情報」は、5月中旬頃の発行を予定しています。